

患者さんへ

「Stanford A 型急性大動脈解離術後の患者における早期離床・リハビリテーションの実態と日常生活動作との関連に関する研究」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2023 年 4 月より 2025 年 3 月までに札幌東徳洲会病院 心臓血管外科で、Stanford A 型急性大動脈解離に対する緊急手術を受けられた方で、発症時に満 18 歳以上の方を対象としています。 なお、当院に搬送されてから 24 時間以降に手術を受けられた方等は除外されます。
2 研究目的・方法	Stanford A 型急性大動脈解離は、緊急手術が必要な重篤な疾患です。手術成績は向上している一方で、手術後に筋力や体力などの身体機能が低下する患者さんも少なくありません。その予防策として、早期離床や理学療法を含むリハビリテーションが有効と考えられています。Stanford A 型急性大動脈解離術後患者における効果は十分に明らかになっていません。 本研究では、電子カルテから過去の診療情報を収集し、術後早期に離床・リハビリテーションを実施した患者さんが、自立歩行の達成や日常生活動作(ADL)の自立において良好な結果を示すかどうかを明らかにすることを目的としています。 研究の期間:施設院長許可(2026 年 7 月予定)後～2030 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	基本情報(性別、年齢、BMI(体格指数)、発症前の日常生活自立度、CT 検査による筋肉量など)、手術の情報(手術時間、出血量など)、術後経過の情報(術後離床の進行度、歩行自立までの日数、退院時の日常生活自立度、術後合併症、術後在院日数など)等
5 研究実施体制	[情報の提供を受ける機関] 日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻、教授 近藤和夫 山形大学医学部医療政策学講座、准教授 池田登顕 秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部理学療法室、大倉和貴 [情報を提供する機関] 研究代表機関:日本医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 宮城島 沙織

	研究機関名	研究責任者	研究機関名	研究責任者
	一宮西病院	野々山忠芳	金沢医科大学病院	前田大忠
	小倉記念病院	藤江亮太	佐賀大学医学部附属病院	吉田恭平
	産業医科大学病院	杉本望	自治医科大学附属さいたま医療センター	安部 諒
	下関市立市民病院	水野博彰	獨協医科大学病院	丹 英哲
	日本大学病院	柳澤 佑哉	日本赤十字社愛知医療 センター名古屋第一病院	西川大樹
	広島大学病院	平井智也	福井大学医学部附属病院	中橋マミ
	信州大学医学部附属病院	佐藤正彬 山本周平	弘前大学医学部附属病院	森川夏香
	手稲溪仁会病院	渡部亮介	札幌孝仁会記念病院	小澤真廣
	札幌東徳洲会病院	佐藤祐介	—	—
	[外部への情報の提供] 当院の院長: https://www.higashi-tokushukai.or.jp/introduction/details/post_23.html データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。			
6 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。			
7 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者: 札幌東徳洲会病院 リハビリテーションセンター 佐藤 祐介 住所: 札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番 1 号 電話番号: 011-722-1110(代表)			

2026 年 6 月 29 日作成(第 1 版)